

“協働”を目的にしないために 住民協働研修

入門編

研修のねらい

- 協働の必要性とその背景について、理解することができます。
- 協働とは何か、その本質を理解することができます。

「協働」は、住民自治の主体者である住民と自治体が、地方自治の本旨（地域主権の確立）を発展させるための基本的な活動です。しかし、高齢化や人口減少が進む中で「地域力」は、ますます弱体化していくことが予想されます。また、地方自治体も職員減少、予算削減により「組織力」が弱まっていくことが懸念されています。

この研修では、グループ討議や講義を通じて「協働」に対する基本的かつ本質的な理解を深めます。

基礎編

研修のねらい

- 協働事業を推進するにあたって、留意すべき事項が理解できます。
- 担当部門の事業において、協働事業の可能性を見いだす方法を体得できます。

「地域力」と「組織力」の弱体化を補うためには「協働」が喫緊の課題です。しかし、財政危機の中において、新規事業の協働は障壁が高いことも事実です。このため、全ての行政分野において、既存事業の中に住民との「協働」を探求し、「地域力」の向上が求められています。

この研修では、グループ討議や事例研究から「協働事業立案のプロセス」などを正しく理解し、既存事業の中に協働実践の可能性を見いだすことをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

半日コース	
1. 「なぜ、協働なのか」を考えてみよう	
(1) 自治体のめざすもの	◇ グループ討議 ◇ 「自治体のめざすもの」
(2) 協働の必要性	◇ グループ討議 ◇ 「地域が活性化され、行政サービスに対する住民満足が高ければ、協働は必要ないのか？」
(3) 公共の一員として	
2. 「協働とは何か」を考えてみよう	
(1) パートナーとなる住民活動団体	◇ グループ討議 ◇ 「知っている住民活動団体を洗い出そう！」
(2) 協働事業の事業目的と事業目標	◇ グループ討議 ◇ 「事業の目的と目標の違いは？」
(3) 地域の協働事業について	◇ グループ討議 ◇ 「地域の協働事業を洗い出そう！」
3. まとめ：協働の実践に向けて	◇ グループ討議 ◇ 「協働の実践に向けて、今から始めるべきこと」

1日コース	
午前	1. 「協働」について考えよう
	(1) 新しい時代のめざすもの (2) 協働の必要性 ◇ グループ討議 ◇
午後	2. 「協働事業」をイメージしよう
	(1) 協働の形 (2) 組織目的と事業目的 ◇ グループ討議 ◇
午後	3. 「協働事業立案のプロセス」を知ろう
	(1) 事業立案の5つのプロセス
	4. 協働事業を計画してみよう ～ 既存事業の協働化を考える ～
午後	◇ 演習 ◇ 「協働事業計画シートの作成」
	◇ 発表 ◇ 「協働事業計画の発表」
	◇ 意見交換 ◇ 「協働事業計画づくりに向けて」
	5. まとめ